

## 幸せを感じられる家族

戸田東小学校 六年 長谷部 美夏

私は家族が大好きです。そして、家族のみんなに感謝しています。

私は四人家族ですが、一日のほとんどをお母さんと弟の三人で過ごしています。それはお父さんが仕事でいそがしく、朝早くに会社へ行き、私と弟がねてしまってから帰って来ることが多いからです。時には三日間お父さんと会えない時もありますが、いつも私達を気にかけてくれます。毎晩お母さんから私や弟の様子を聞き、仕事の合間に電話をくれます。内容は、

「今、何してるの？」

など、どうでもいい内容ですが、お父さんの声を聞くだけで元気が出ます。毎日、私達のためにがんばってくれているお父さん、本当にありがたいという言葉で感謝したいと思います。

お母さんへの感謝の気持ちは、一日の出来事の中でいやだったこと、うれしかったこと、どんなことでも一生懸命に話を聞いてくれることです。友達や学校でのなやみ事もお母さんに話すと、モヤモヤしていた気持ちが消え、「明日

からまたがんばるぞ」と思えるのです。いつも味方となつて話を聞いてくれるお母さんが大好きです。

弟はいつ息をしているんだろう…と思うくらいいつねにしゃべって周りをにぎやかにして、家族を活気づけてくれます。私も、うるさいなあ。と思う時もあるけれど、いつの間にか弟のペースに巻き込まれてしまい、四つ上の私まで一緒になってさわいでしまいます。たまにさわぎすぎて、お母さんに怒られることもあるけど、楽しくにぎやかに笑っていたられるのは本当に弟のおかげだなあと思いました。

私が思う家族とは、思いやりの一言です。思いやりとは、家族の中で誰かが困っている時、一緒になって助けてあげることです。手伝いをして力を貸すのはもちろん、話を聞いて一緒に解決策を見つけてあげることとも思いやりの一つだと思います。そして、おたがいが必要とされていると感じられるふんい気が大切なのではないでしょうか。

私にとって家族は、宝物であり、なくてはならない存在です。この先、大人になって両親のもとをはなれる時が来ても、家族のみんなが見守ってくれていると思うと、安心して過ごすことが出来ると思います。そんな気持ちを持つて毎日を過ごせたら、うるおいのある幸せな家庭になると思います。